



## 新機能および変更された機能に関する情報

この章では、Cisco Nexus 9000 シリーズ NX-OS プログラマビリティ ガイド、10.1(x) のこのリリースに記載されている、新機能および変更された機能に関するリリース固有の情報について説明します。

- [新機能および変更された機能に関する情報（1 ページ）](#)

## 新機能および変更された機能に関する情報

次の表では、Cisco Nexus 9000 Series NX-OS Programmability Guide, Release 10.1 に記載されている新機能および変更機能を要約しており、対応するセクションを示しています。

表 1: 新機能および変更された機能

特長	説明	変更が行われたリリース	参照先
テレメトリ	宛先ホスト名のサポートを追加 ノードIDのサポートを追加 gRPC 非同期モード機能を追加  証明書トラストポイント証明書の trustpoint キーワードを追加 テレメトリ転送セッションのコマンドを追加 エフェメラルイベントをサポートするために、新しいセンサーパスケリ条件を追加	10.1(1)	<a href="#">モデル駆動型テレメトリ</a>

特長	説明	変更が行われたリリース	参照先
gRPC エージェント	NX-OS は、10.1(x) 以降の gRPC サービスをサポートしていません。したがって、gRPC エージェントの章は、プログラマビリティガイドから削除されます。これまでの gRPC インターフェイスは、NX-OS 9.3(1) から NX-OS とともに出荷されている gNMI インターフェイスに代わられました。	10.1(1)	--
gNMI クライアントベース証明書	gNMI クライアント証明書認証のサポートが強化された	10.1(1)	<a href="#">gNMI-gRPC ネットワーク管理インターフェイス</a>
gRPC ネットワーク操作インターフェイス (gNOI)	ネットワークデバイスで運用コマンドを実行するための gNOI のサポートが追加された	10.1(1)	<a href="#">gNOI-gRPC ネットワーク操作インターフェイス</a>
Guest Shell 3.0	CentOS 8 および Python 3.6 に基づく Guest Shell 3.0 のサポートが追加されたスイッチの Docker のバージョンをアップグレード	10.1(1)	<a href="#">ゲスト シェル</a>
OpenConfig モデルの追加	インターフェイス参照レベルの OpenConfig ACL の状態コンテナを追加  ドメイン名、ログインバナー、および motd バナーモデルのシステム構成コンテナを追加	10.1(1)	<a href="#">OpenConfig YANG</a>

特長	説明	変更が行われたリリース	参照先
Linux カーネルのアップグレード	Cisco NX-OS リリース 10.0(1) ソフトウェアは、Yocto 2.6 に基づいています。Yocto 2.6 をダウンロードし、構築する新しいソフトウェアをダウンロードし、ソフトウェアを構築し、ソフトウェアをスイッチにインストールするという方法によって、より多くのアプリケーションをインストールできます。	10.1(1)	<a href="#">bash</a> <a href="#">ゲスト シェル</a> <a href="#">サードパーティ製アプリケーション</a> <a href="#">Nexus アプリケーション開発: Yocto</a> <a href="#">Nexus アプリケーション開発: SDK</a> <a href="#">Cisco NX-OS での Docker の使用</a> <a href="#">コンポーネント管理</a> <a href="#">モデル駆動型テレメトリ</a>



## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。